

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	釧路工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
本科	創造工学科 (情報工学分野)			4	4	8	7	
	創造工学科 (機械工学分野)				12	16	7	
	創造工学科 (電気工学分野)				4	8	7	
	創造工学科 (電子工学分野)				6	10	7	
	創造工学科 (建築学分野)				3	7	7	
	機械工学科		4		10	14	7	
	電気工学科				4	8	7	
	電子工学科				3	7	7	
	情報工学科				3	7	7	
	建築学科				4	8	7	
専攻科	建設・生産システム工学専攻		6		4	10	7	
	電子情報システム工学専攻				2	8	7	
(備考) 創造工学科は平成28年度に設置され、完成年度を超えていないため、設置計画に基づいた実務経験のある教員等による授業科目の単位数を記載している。 機械工学科、電気工学科、電子工学科、情報工学科及び建築学科は、平成27年度をもって学生募集を停止しており、従前の教育課程に基づいた実務経験のある教員等による授業科目の単位数を記載している。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

情報工学分野： https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=03&department_id=11&year=2019&lang=ja
機械工学分野： https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=03&department_id=12&year=2019&lang=ja
電気工学分野： https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=03&department_id=13&year=2019&lang=ja
電子工学分野： https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=03&department_id=14&year=2019&lang=ja
建築学分野： https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=03&department_id=15&year=2019&lang=ja
建設・生産システム工学専攻 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=03&department_id=21&year=2019&lang=ja
電子情報システム工学専攻 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicSubjects?school_id=03&department_id=22&year=2019&lang=ja

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	釧路工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kosen-k.go.jp/about/release/index.html#yakuinmeibo

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	平成28年4月1日～ 令和6年3月31日	理事長
常勤	東京工業大学理事・ 副学長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日	研究・産学連携 情報システム
非常勤	東京大学教授	平成26年4月1日～ 令和2年3月31日	男女共同参画 推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	釧路工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>高専機構として運用している Web シラバスシステム上で、シラバスを作成し、公表している。シラバス記載事項のガイドラインとして教務委員会策定の「シラバス記入要領」がある。</p> <p>2019年度のシラバスは、2019年1月31日までに教員が入力、2月14日までに自己チェック、2月28日までに相互チェックを実施した。4月1日に新年度シラバスを公開し、一般からの閲覧を可能とした。</p> <p>授業の初回に、科目担当教員が学生にシラバスを印刷して配布するなどして説明している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=03</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目ごとに、試験やレポート、卒業論文などによる成績評価方法がシラバスに記載されている。これに従ってつけられた評点を教務事務システムで集計し、定期試験ごとに保護者に郵送で結果を通知している。年度末には、教員会議において評点を確認し、単位認定および進級認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績の分布状況について「学業成績の試験・評価及び進級並びに卒業の認定に関する内規」第7条の3に「学年及び学級における席次は、当該年度に履修した科目の評点に単位数を乗じ、その合計を履修した総単位数で除した点数（以下「加重平均点」という。）により決定する。ただし、釧路工業高等専門学校学則別表第1及び別表第2に定める進級及び卒業に必要な修得単位数には含まれないが単位認定は行う科目は加重平均点から除外する。」と規定しており、これを学生便覧に記載して配布している。この規定にもとづいて教務事務システムで各科目の評点を集計し、決定した席次を定期試験ごとに保護者に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧(39頁)に記載して配布 https://www.kushiro-ct.ac.jp/uploads/files/31gakuseibinran.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針について「学業成績の試験・評価及び進級並びに卒業の認定に関する内規」第8条に、 「進級及び卒業の認定は、原則として教員会議の議を経て、校長が行う。 2 進級及び卒業の認定にあたっては、次の各号の条件が全て満たされていなければならない。ただし、校長が特別の事情があると認めた場合は、この限りでない。 一 各科目の学年成績の評点が、60点以上である者 二 原則として特別欠席を含む欠席日数が年間出席すべき日数の3分の1を超えない者 三 原則として各科目の特別欠席を含む欠課時数が年間授業時数の3分の1を超えない者」 と規定しており、これを学生便覧に記載して配布している。この規定にもとづいて教員会議の議を経て校長が卒業の認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	釧路工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH29.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH29.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H29jigyohokokusho1.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:平成31年度(2019年度))
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-h31.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中長期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=84

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=433

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

① 教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 創造工学科 スマートメカニクスコース 情報工学分野
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311)
(概要) 本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562)
(概要) 本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者としての能力及び各コース・各分野ごとに能力を身につけ、5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。 スマートメカニクスコース 情報工学分野と機械工学分野を融合し、様々な機能を実現するために製品に組み込まれるコンピュータシステム技術、高度情報化社会を支えるプログラミング技術、人間と機械間の情報をやり取りや情報の流れを制御するためのシステム技術、人間と機械・システム間の橋渡しをするマンマシンインターフェース技術、機械とセンサーやコンピュータ技術を結合させて機械の高度化を図るメカトロニクス技術等を活用することができる、高度な能力を修得した者。 情報工学分野 情報工学分野は、スマートメカニクスコースの中で、特に大量の情報を効率よく「取得」「加工」「蓄積」「伝達」するなどの情報工学を中心とした技術等を活用することができる高度な能力を修得した者。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562)
(概要) 本校では、「ディプロマポリシー」に定める能力を身につけるため、創造工学科及び各コース・分野ごとに「カリキュラムポリシー」を定めています。 創造工学科 1. 第1学年では混合学級とし、国語・数学・理科・社会・英語・専門科目の基礎など、技術者に必要な教養科目を中心に編成しています。 2. 第2学年から、各分野ごとに配属が決定し、高学年に進むに従い各分野のごとの専門科目が多くなるくさび形に科目を編成しています。 3. 高学年では、5分野に亘る幅広い知識・技術・応用力等を身につけるため、各分野共通科目である複合融合演習等を編成しています。 スマートメカニクスコース 情報工学分野と機械工学分野を融合し、それぞれ一つの専門分野を体系

的に学び、その後もう一方の専門分野の知識を修得できるようカリキュラムを編成しています。

情報工学分野

情報工学分野では、スマートメカニクスコースの中で、情報工学に関する知識、技術を総合的に学習し、ネットワークの仕組み、プログラミング技術、データベース技術、人工知能 (AI) 技術など、情報工学の基礎から応用までの幅広い分野を修得できるようカリキュラムを編成しています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）

（概要）

本校では、創造工学科及び各コース・分野ごとに、受け入れたい人材の「アドミッションポリシー」を定めています。

創造工学科

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で

- ◎ 技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性
- ◎ 向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力
- ◎ 社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人…意識と改革
- ◎ 約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調
- ◎ 失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦

スマートメカニクスコース

情報工学分野と機械工学分野を融合し、様々な機能を実現するために製品に組み込まれるコンピュータシステム技術、高度情報化社会を支えるプログラミング技術、人間と機械間の情報をやり取りしたり情報の流れを制御するためのシステム技術、人間と機械・システム間の橋渡しをするマンマシンインターフェース技術、機械とセンサーやコンピュータ技術を結合させて機械の高度化を図るメカトロニクス技術等を活用することができる、高度な技術者を養成します。本コースでは、それぞれ一つの専門分野を体系的に学び、その後もう一方の専門分野の知識を吸収したい人の入学を期待しています。

情報工学分野

情報工学分野は、スマートメカニクスコースの中で、特に大量の情報を効率よく「取得」「加工」「蓄積」「伝達」するなどの情報工学を中心とした技術者になるため、ネットワークの仕組み、プログラミング技術、データベース技術、人工知能 (AI) 技術など、情報工学の基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. コンピュータの動作原理やプログラミングに興味のある人
2. データベースやネットワークなどの IT の応用技術を修得したい人
3. 実践的な技術や専門知識を学習し、IT 社会に貢献したい人

学部等名 創造工学科 スマートメカニクスコース 機械工学分野
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311 ）
<p>（概要）</p> <p>本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者としての能力及び各コース・各分野ごとに能力を身につけ、5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p> <p>スマートメカニクスコース</p> <p>情報工学分野と機械工学分野を融合し、様々な機能を実現するために製品に組み込まれるコンピュータシステム技術、高度情報化社会を支えるプログラミング技術、人間と機械間の情報をやり取りや情報の流れを制御するためのシステム技術、人間と機械・システム間の橋渡しをするマンマシンインターフェース技術、機械とセンサーやコンピュータ技術を結合させて機械の高度化を図るメカトロニクス技術等を活用することができる、高度な能力を修得した者。</p> <p>機械工学分野</p> <p>機械工学分野は、スマートメカニクスコースの中で、特に「エネルギー」「情報」「機械材料」をつくり出す“ものづくり”などの機械工学を中心とした技術等を活用することができる高度な能力を修得した者。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>本校では、「ディプロマポリシー」に定める能力を身につけるため、創造工学科及び各コース・分野ごとに「カリキュラムポリシー」を定めています。</p> <p>創造工学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1学年では混合学級とし、国語・数学・理科・社会・英語・専門科目の基礎など、技術者に必要な教養科目を中心に編成しています。 2. 第2学年から、各分野ごとに配属が決定し、高学年に進むに従い各分野のごとの専門科目が多くなるくさび形に科目を編成しています。 3. 高学年では、5分野に亘る幅広い知識・技術・応用力等を身につけるため、各分野共通科目である複合融合演習等を編成しています。 <p>スマートメカニクスコース</p> <p>情報工学分野と機械工学分野を融合し、それぞれ一つの専門分野を体系的に学び、その後もう一方の専門分野の知識を修得できるようカリキュラムを編成しています。</p> <p>機械工学分野</p> <p>機械工学分野では、スマートメカニクスコースの中で、機械工学に関する</p>

知識、技術を総合的に学習し、力学、設計・製図、材料・加工、メカトロニクス、熱・流体、情報処理技術など、幅広い分野を修得できるようカリキュラムを編成しています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）

（概要）

本校では、創造工学科及び各コース・分野ごとに、受け入れたい人材の「アドミッションポリシー」を定めています。

創造工学科

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で

- ◎ 技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性
- ◎ 向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力
- ◎ 社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人…意識と改革
- ◎ 約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調
- ◎ 失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦

スマートメカニクスコース

情報工学分野と機械工学分野を融合し、様々な機能を実現するために製品に組み込まれるコンピュータシステム技術、高度情報化社会を支えるプログラミング技術、人間と機械間の情報をやり取りしたり情報の流れを制御するためのシステム技術、人間と機械・システム間の橋渡しをするマンマシンインターフェース技術、機械とセンサーやコンピュータ技術を結合させて機械の高度化を図るメカトロニクス技術等を活用することができる、高度な技術者を養成します。本コースでは、それぞれ一つの専門分野を体系的に学び、その後もう一方の専門分野の知識を吸収したい人の入学を期待しています。

機械工学分野

機械工学分野は、スマートメカニクスコースの中で、特に「エネルギー」「情報」「機械材料」をつくり出す“ものづくり”などの機械工学を中心とした技術者になるため、力学、設計・製図、材料・加工、メカトロニクス、熱・流体、情報処理技術など、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 機械が好きで、みずから新しい“ものづくり”に挑戦できる人
2. 人のために役に立ち、地球に優しい“ものづくり”に関心のある人
3. グローバルな視点に立ち、安全な“ものづくり”に貢献したい人

<p>学部等名 創造工学科 エレクトロニクスコース 電気工学分野</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者としての能力及び各コース・各分野ごとに能力を身につけ、5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p> <p>エレクトロニクスコース</p> <p>電気工学分野と電子工学分野を融合し、電気エネルギーや計測制御と光・電子デバイス、電子制御と情報通信技術を学び、人々の安心・安全で豊かな生活を支えるために、社会基盤技術から情報通信技術までの幅広く全ての産業に貢献できる高度な技術等を活用することができる高度な能力を修得した者。</p> <p>電気工学分野</p> <p>電気工学分野は、エレクトロニクスコースの中で、特に人々の暮らしを支える電気エネルギーの「生成」「伝送」「利用」などの電気工学を中心とした技術等を活用することができる高度な能力を修得した者。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校では、「ディプロマポリシー」に定める能力を身につけるため、創造工学科及び各コース・分野ごとに「カリキュラムポリシー」を定めています。</p> <p>創造工学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1学年では混合学級とし、国語・数学・理科・社会・英語・専門科目の基礎など、技術者に必要な教養科目を中心に編成しています。 2. 第2学年から、各分野ごとに配属が決定し、高学年に進むに従い各分野のごとの専門科目が多くなるくさび形に科目を編成しています。 3. 高学年では、5分野に亘る幅広い知識・技術・応用力等を身につけるため、各分野共通科目である複合融合演習等を編成しています。 <p>エレクトロニクスコース</p> <p>電気工学分野と電子工学分野を融合し、まずは電気・電子分野の共通基礎科目を学び、その後それぞれの専門分野を体系的に修得できるようカリキュラムを編成しています。</p> <p>電気工学分野</p> <p>電気工学分野では、エレクトロニクスコースの中で、電気工学に関する知識、技術を総合的に学習し、電気の基本から始まり、電気エネルギーの作り</p>

方や送り方、電気エネルギーを機械エネルギーに変える方法、機械やロボットの仕組みなど、幅広い分野を修得できるようカリキュラムを編成しています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）

（概要）

本校では、創造工学科及び各コース・分野ごとに、受け入れたい人材の「アドミッションポリシー」を定めています。

創造工学科

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で

- ◎ 技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性
- ◎ 向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力
- ◎ 社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人…意識と改革
- ◎ 約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調
- ◎ 失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦

エレクトロニクスコース

電気工学分野と電子工学分野を融合し、電気エネルギーや計測制御と光・電子デバイス、電子制御と情報通信技術を学び、人々の安心・安全で豊かな生活を支えるために、社会基盤技術から情報通信技術までの幅広く全ての産業に貢献出来る高度な技術者を養成します。本コースでは、まずは電気・電子分野の共通基礎科目を学び、その後それぞれの専門分野を体系的に学びたい人の入学を期待しています。

電気工学分野

電気工学分野は、エレクトロニクスコースの中で、特に人々の暮らしを支える電気エネルギーの「生成」「伝送」「利用」などの電気工学を中心とした技術者になるため、電気の基本から始まり、電気エネルギーの作り方や送り方、電気エネルギーを機械エネルギーに変える方法、機械やロボットの仕組みなど、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 発電、送電、新エネルギーに興味のある人
2. 電波、放送、通信、画像処理に興味のある人
3. コンピュータ、ロボット、モータに興味のある人

<p>学部等名 創造工学科 エレクトロニクスコース 電子工学分野</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者としての能力及び各コース・各分野ごとに能力を身につけ、5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p> <p>エレクトロニクスコース</p> <p>電気工学分野と電子工学分野を融合し、電気エネルギーや計測制御と光・電子デバイス、電子制御と情報通信技術を学び、人々の安心・安全で豊かな生活を支えるために、社会基盤技術から情報通信技術までの幅広く全ての産業に貢献できる高度な技術等を活用することができる高度な能力を修得した者。</p> <p>電子工学分野</p> <p>電子工学分野は、エレクトロニクスコースの中で、特に「電子デバイス」「情報通信」「電子制御」などの電子工学を中心とした技術等を活用することができる高度な能力を修得した者。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校では、「ディプロマポリシー」に定める能力を身につけるため、創造工学科及び各コース・分野ごとに「カリキュラムポリシー」を定めています。</p> <p>創造工学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1学年では混合学級とし、国語・数学・理科・社会・英語・専門科目の基礎など、技術者に必要な教養科目を中心に編成しています。 2. 第2学年から、各分野ごとに配属が決定し、高学年に進むに従い各分野のごとの専門科目が多くなるくさび形に科目を編成しています。 3. 高学年では、5分野に亘る幅広い知識・技術・応用力等を身につけるため、各分野共通科目である複合融合演習等を編成しています。 <p>エレクトロニクスコース</p> <p>電気工学分野と電子工学分野を融合し、まずは電気・電子分野の共通基礎科目を学び、その後それぞれの専門分野を体系的に修得できるようカリキュラムを編成しています。</p> <p>電子工学分野</p> <p>電子工学分野では、エレクトロニクスコースの中で、電子工学に関する知識、技術を総合的に学習し、電磁気学、電気・電子回路、論理回路、光・電子デバイス、通信工学、プログラム言語などの電子工学に関する基礎から応</p>

用までの幅広い分野を修得できるようカリキュラムを編成しています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）

（概要）

本校では、創造工学科及び各コース・分野ごとに、受け入れたい人材の「アドミッションポリシー」を定めています。

創造工学科

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で

- ◎ 技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……夢と創造性
- ◎ 向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……意欲と努力
- ◎ 社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人…意識と改革
- ◎ 約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……敬意と協調
- ◎ 失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……勇気と挑戦

エレクトロニクスコース

電気工学分野と電子工学分野を融合し、電気エネルギーや計測制御と光・電子デバイス、電子制御と情報通信技術を学び、人々の安心・安全で豊かな生活を支えるために、社会基盤技術から情報通信技術までの幅広く全ての産業に貢献出来る高度な技術者を養成します。本コースでは、まずは電気・電子分野の共通基礎科目を学び、その後それぞれの専門分野を体系的に学びたい人の入学を期待しています。

電子工学分野

電子工学分野は、エレクトロニクスコースの中で、特に「電子デバイス」「情報通信」「電子制御」などの電子工学を中心とした技術者になるため、電磁気学、電気・電子回路、論理回路、光・電子デバイス、通信工学、プログラム言語などの電子工学に関する基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. ICT（情報通信技術）に興味があり、新しい情報伝達の仕組み（通信）を築きたい人
2. 「もの」の仕組みに興味があり、いままでにない物質（半導体）を創りたい人
3. コンピュータで「もの」を測ったり（計測）、自動制御によってロボットを自在に動かしたい人

<p>学部等名 創造工学科 建築デザインコース 建築学分野</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者としての能力及び各コース・各分野ごとに能力を身につけ、5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p> <p>建築デザインコース</p> <p>建築学分野</p> <p>建築学分野に関する知識、技術を総合的に学習し、建築構造・材料、建築生産、建築環境・設備、建築計画・設計など建築学の基礎から応用までの幅広い知識・能力を習得した者。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校では、「ディプロマポリシー」に定める能力を身につけるため、創造工学科及び各コース・分野ごとに「カリキュラムポリシー」を定めています。</p> <p>創造工学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1学年では混合学級とし、国語・数学・理科・社会・英語・専門科目の基礎など、技術者に必要な教養科目を中心に編成しています。 2. 第2学年から、各分野ごとに配属が決定し、高学年に進むに従い各分野のごとの専門科目が多くなるくさび形に科目を編成しています。 3. 高学年では、5分野に亘る幅広い知識・技術・応用力等を身につけるため、各分野共通科目である複合融合演習等を編成しています。 <p>建築デザインコース</p> <p>建築学分野</p> <p>建築学分野では、建築学に関する知識、技術を総合的に学習し、建築構造・材料、建築生産、建築環境・設備、建築計画・設計など建築学に関する基礎から応用までの幅広い分野を修得できるようカリキュラムを編成しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>

<p>(概要)</p> <p>本校では、創造工学科及び各コース・分野ごとに、受け入れたい人材の「アドミッションポリシー」を定めています。</p> <p>創造工学科</p> <p>工学を学ぶための基礎学力を備えた人で</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性 ◎ 向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力 ◎ 社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人…意識と改革 ◎ 約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調 ◎ 失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦 <p>建築デザインコース</p> <p>建築学分野</p> <p>建築学分野は、建築の「意匠と計画」「構造と材料」「環境と設備」に関する技術を学び、「使いやすさ」や「安全性」と共に、「空間の美しさ」を追求できる高度な技術者を養成します。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物の形やつくり方に興味がある人 2. 暮らしやすい環境に興味がある人 3. デザインすることが好きな人

<p>学部等名 機械工学科</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=264）</p> <p>(概要)</p> <p>機械工学科は、機械設計製図（CADを含む）、機械工作法、材料力学、熱・流体工学・機械力学等の機械工学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ、これらを活用した創造的能力をもち、さらにコミュニケーション能力及びデザイン能力を持つ人材を育成することを目的とする。</p> <p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p> <p>(概要)</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者として、機械設計製図（CADを含む）、機械工作法、材料力学、熱・流体工学・機械力学等の機械工学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p> <p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>低学年では、基礎科目である工業力学、機械設計法、機械工作法、機械設計製図及び機械加工に必要な基礎実技をとり入れた工作実習などの専門教育が行われます。</p> <p>3 学年から 5 学年では、専門科目で履修する理論を確認する工学実験が、熱・流体力学、材料・加工、機械力学・材料力学、制御情報・システム工学の各研究室で行われます。また、CAD など電子計算機の演習を含んだ専門科目についても学習します。</p> <p>また、5 学年では、自分の将来に役立つ選択科目と卒業研究があります。卒業研究では、指導教員のもとで 1 年間にわたり各自のテーマについて研究が行われます。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>(概要)</p> <p>釧路高専入学者受入方針（アドミッションポリシー）</p> <p>こんな「あなた」に来てほしい！</p> <p>… 釧路高専が求める人の姿 …</p> <p>工学を学ぶための基礎学力を備えた人で</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性 ◎向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力 ◎社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人……………意識と改革 ◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調 ◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦 <p>「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そして「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。</p> <p>釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。</p> <p>機械工学科</p> <p>機械工学科では、21 世紀を支える「エネルギー」・「情報」・「材料」をつくり出す“ものづくり”の技術者になるため、力学、メカトロニクス、熱・流体、デザイン、コンピュータなど、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 機械が好きで、みずから新しい“ものづくり”に挑戦できる人 2. 人のために役に立ち地球に優しい“ものづくり”に関心のある人 3. グローバルな視点に立ち安全な“ものづくり”に貢献したい人

<p>学部等名 電気工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=265）</p>
<p>(概要)</p> <p>電気工学科は、エネルギー、情報通信、制御等の電気工学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ、これらを活用した複合領域に対応した応用力と問題解決能力を持ち、さらに、他の技術者と連携した活動ができるコミュニケーション能力を持つ人材を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>

<p>(概要)</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者として、エネルギー、情報通信、制御等の電気工学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>(概要)</p> <p>電気工学の専門分野は多岐にわたり、電気エネルギー・電気機械部門、電子・通信部門、計測制御・電子計算機・情報処理部門等を総合的に履修し、学生各自の希望に応じて履修できる選択科目も取り入れています。また、実験実習にも力を入れ、基礎実験から最新の技術研究実験まで、在学中に15単位の実験を行っています。特に、卒業研究では、自主的に研究を進め、問題を解明する能力の養成を期し、創造性の豊かな優秀な技術者を目指しています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562）</p>
<p>(概要)</p> <p>釧路高専入学者受入方針（アドミッションポリシー） こんな「あなた」に来てほしい！ … 釧路高専が求める人の姿 … 工学を学ぶための基礎学力を備えた人で ◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性 ◎向上心をもって学校生活に取り組みようとする人……………意欲と努力 ◎社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人……………意識と改革 ◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調 ◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦 「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そして「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。 釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。</p> <p>電気工学科 電気工学科では、私たちの社会を支える『電気』を中心に幅広い分野の勉強をします。 電気の基本から始まり、電気エネルギーの作り方や送り方、電気エネルギーを機械エネルギーに変えること、コンピュータやプログラムの仕組み、放送などの通信や電波の仕組み、機械やロボットなどの制御の仕組みが学べます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発電、送電、新エネルギーに興味のある人 2. 電波、放送、通信、画像処理に興味のある人 3. コンピュータ、ロボット、モータに興味のある人

学部等名 電子工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=266 ）
<p>（概要）</p> <p>電子工学科は、電子デバイス、電子制御、情報通信等の電子工学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ、これらを活用した自発的な問題発見能力を持ち、さらに、専門分野との関連の上に自ら課題を創出する高いデザイン能力を持つ人材を育成することを目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者として、電子デバイス、電子制御、情報通信等の電子工学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>電子工学科の教育課程は、このような多様な社会にエレクトロニクスを通じて参加できるように、主として情報・通信、電子デバイス、計測・制御の3つを柱として作られています。また、これらの授業が単に知識だけに終わることのないよう実験実習に力を入れて、理論と同時に技術面にも強い行動的技術者を生み出すことを主眼としております。実験実習では主に回路の設計・製作、半導体素子の製作・性能評価及びコンピュータのソフトウェア・ハードウェアに関する高度の技術を修得できることを目標としています。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>釧路高専入学者受入方針（アドミッションポリシー） こんな「あなた」に来てほしい！ … 釧路高専が求める人の姿 … 工学を学ぶための基礎学力を備えた人で ◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性 ◎向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力 ◎社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人…………意識と改革 ◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調 ◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦 「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そして「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。 釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。</p> <p>電子工学科</p> <p>電子工学科ではコンピュータ・携帯電話・インターネットなどの情報通信の分野、太陽電池・温度差発電・超伝導などのデバイスの分野、さらにロボット・レーザー・ソーラーカーなどの計測・制御の分野を3本柱として学習します。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. IT技術に興味があり、新しい情報伝達の仕組み（通信）を築きたい人 2. 「もの」の仕組みに興味があり、いままでにない物質（半導体）を創りたい人

人
 3. コンピュータで「もの」を測ったり（計測）、ロボットを動かしたい人

学部等名 情報工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=267 ）
<p>（概要）</p> <p>情報工学科は、情報化社会に寄与することのできる情報工学及び情報技術に関する十分な基礎力と応用力を身につけ、これらを活用した問題解決能力を持ち、さらに、国際社会に貢献できる高いモラルとコミュニケーション能力を持つ人材を育成することを目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者として、情報化社会に寄与することのできる情報工学及び情報技術に関する十分な基礎力と応用力を身につけ5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>教育課程は、ハードウェア技術に関しては基礎的知識程度にとどめ、ソフトウェア教育に主力をおいています。その内容は計算機の動作原理を中心とするハードウェア技術の基本を学んだ上で、特にプログラミング技法やコンパイラの作成、そしてOS構造等を核とするソフトウェア技術の基礎力育成に力点をおき、さらに進んでネットワーク・グラフィック・シミュレーション・信号処理・データベース等の応用技術をも修得できるように編成してあります。また、これら専門科目学習の集大成として、7単位の卒業研究に取り組み、科学研究に対する手法や姿勢を養うとともに、将来ソフトウェア開発やシステム技術に従事するときに必要な独創力の素地を培うようにしています。</p>
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
<p>（概要）</p> <p>釧路高専入学者受入方針（アドミッションポリシー） こんな「あなた」に来てほしい！ … 釧路高専が求める人の姿 … 工学を学ぶための基礎学力を備えた人で ◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性 ◎向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力 ◎社会の物事に疑問や関心をもち、よい社会を築こうとする人……………意識と改革 ◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調 ◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦 「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そ</p>

して「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。
釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。

情報工学科

情報工学科では、発展する情報化社会に役立つ技術者になるため、情報化社会の「脳や神経」に当たるコンピュータや情報通信ネットワークの仕組み、コンピュータを賢く動かすプログラミング技術、大量なデータを効率よく処理するデータベース技術、人工知能技術等、基礎から応用まで幅広く勉強します。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. コンピュータの動作原理やプログラミングに興味のある人
2. データベースやネットワークなどの応用技術を修得したい人
3. 実践的な技術や専門知識を学習し、情報化社会に貢献したい人

学部等名 建築学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=268 ）
（概要） 建築学科は、計画、構造、生産等の建築学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ、これらを活用したトータルコーディネート能力を持ち、さらに創造的で柔軟性のある能力を持つ人材を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
（概要） 本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者として、計画、構造、生産等の建築学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ5年間の課程を修了した者に対し卒業を認定します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
（概要） 低学年における主な学習内容は、製図に関する基本的な知識及び木造住宅の設計、インテリアや空間コーディネートのための演習、構造物の骨組に作用する力を解明する構造力学の学習などがあります。また、コンピュータの使用法の習得とそれを利用した設計のための情報処理演習や建築CADも学びます。 高学年では、各種建物の設計計画の原理、施工技術や管理などの建築生産、鉄筋コンクリート造及び鋼構造の構造設計、また建築物の技術的進歩過程を探る建築史、人命と建物の安全をチェックする建築法規、この外に都市計画、土質基礎工学、建築設備などの科目があります。特に5年目には専門の選択科目が用意され、自分に合った科目を学習するシステムになっています。卒業研究は、設計製図を選択するコース（設計系）と、専門の実験研究等を行うコース（論文系）に分かれます。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=562 ）
（概要） 釧路高専入学者受入方針（アドミッションポリシー） こんな「あなた」に来てほしい！ … 釧路高専が求める人の姿 … 工学を学ぶための基礎学力を備えた人で ◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性

- ◎向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力
 - ◎社会の物事に疑問や関心を持ち、よい社会を築こうとする人……………意識と改革
 - ◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調
 - ◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦
- 「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そして「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。
- 釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。

建築学科

建物は、美しく、快適で使いやすく、地震に強くなくてはなりません。建築学科ではこのような建物をつくるために、設計の方法や、安全な建物のしくみなどについて学習します。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 建物の形やつくり方に興味がある人
2. 暮らしやすい環境に興味がある人
3. 絵を描いたり、デザインをすることが好きな人

学部等名 建設・生産システム工学専攻
教育研究上の目的（公表方法： https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=269 ）
<p>(概要)</p> <p>建設・生産システム工学専攻は、機械工学、建築学等を基盤とした共通・境界領域の知識を応用し、社会基盤分野において活躍できる応用力と創造力を兼ね備えた設計・開発能力を持つ人材を育成することを目的とする。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=563 ）
<p>(概要)</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者としての能力及び各専攻ごとに下記の能力を身につけることを達成した者に対し修了を認定します。</p> <p>○建設・生産システム工学専攻</p> <p>機械工学及び建築学を基礎とする学生に対し、本科で修得した基礎学力、専門的能力をさらに高い水準に上げ、問題解決能力・豊かな発想力をより高めた実践的技術者としての能力を身につけた者。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.kushiroct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=563 ）
<p>(概要)</p> <p>本校専攻科では、専攻科の「ディプロマポリシー」に定める能力を身につけるため、本科課程のカリキュラムポリシーを引き継ぎ、発展させて、「創造的な技術開発能力、情報の高度処理能力、国際化への対応能力を総合的に兼ね備え、技術者倫理と地域への強い貢献意識をもった高度技術者の育成」を目的としたカリキュラムを編成しています。</p> <p>○建設・生産システム工学専攻</p>

<p>主として、機械工学及び建築学を基礎とする学生に対し、本科で修得した基礎学力、専門的能力をさらに高い水準に上げるため、問題解決能力・豊かな発想力をより高めた実践的技術者を養成することを目的とし、カリキュラムを編成しています。</p> <p>さらに、学科の共通あるいは境界領域の分野に関しては、建築設計と機械設計の両方の視野のもとで対応できる設計・開発技術者や、地域の特色である低温環境における諸問題に対応できる技術者を育成するカリキュラム編成となっています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=563）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校専攻科では、上記の目的を踏まえ、次のような人に入学してほしいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○技術や科学の素養があり、より高度で幅広い技術の修得を目指す人 ○基本的な教養と倫理観を身につけた人 ○コミュニケーション能力の向上を目指す人 ○技術的課題に積極的に挑戦する意欲のある人 ○技術を身につけ、地域・社会に貢献する希望のある人

<p>学部等名 電子情報システム工学専攻</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=269）</p>
<p>（概要）</p> <p>電子情報システム工学専攻は、電気、電子、情報工学等の関連工学に関する十分な基礎力と応用力を身につけ、これを活用した境界領域に関する知識を持ち、さらに、応用力と創造力を兼ね備えた研究開発能力を持つ人材を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=563）</p>
<p>（概要）</p> <p>本校では、学則に定める所定の単位を修得し、学習目標に定める実践的・創造的技術者としての能力及び各専攻ごとに下記の能力を身につけることを達成した者に対し修了を認定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電子情報システム工学専攻 <p>電気工学、電子工学及び情報工学を基礎とする学生に対し、本科の教育で修得した基礎学力を直接活用しながら、高度な専門技術を学ぶことにより、効率よく専門性を高め実践的技術者としての能力を身につけた者。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=563）</p>

<p>(概要)</p> <p>本校専攻科では、専攻科の「ディプロマポリシー」に定める能力を身につけるため、本科課程のカリキュラムポリシーを引き継ぎ、発展させて、「創造的な技術開発能力、情報の高度処理能力、国際化への対応能力を総合的に兼ね備え、技術者倫理と地域への強い貢献意識をもった高度技術者の育成」を目的としたカリキュラムを編成しています。</p> <p>○電子情報システム工学専攻</p> <p>主として、電気工学、電子工学及び情報工学を基礎とする学生に対し、本科の教育で修得した基礎学力を直接活用しながら、高度な専門技術を学ぶことにより、効率よく専門性を高めることができるようカリキュラムを編成しています。</p> <p>さらに、互いに関連する境界領域についても学ぶことにより、専門知識に広がりと応用能力を兼ね備えた創造性豊かで高度な研究開発能力を有する高度実践的技術者を養成するカリキュラム編成となっています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=563）</p>
<p>(概要)</p> <p>本校専攻科では、上記の目的を踏まえ、次のような人に入学してほしいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○技術や科学の素養があり、より高度で幅広い技術の修得を目指す人 ○基本的な教養と倫理観を身につけた人 ○コミュニケーション能力の向上を目指す人 ○技術的課題に積極的に挑戦する意欲のある人 ○技術を身につけ、地域・社会に貢献する希望のある人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
創造工学科（一般教育部門）	—	11人	10人	4人	人	人	25人
創造工学科（情報工学分野）	—	4人	5人	人	1人	人	10人
創造工学科（機械工学分野）	—	3人	3人	人	1人	人	7人
創造工学科（電気工学分野）	—	3人	2人	人	4人	人	9人
創造工学科（電子工学分野）	—	4人	3人	人	2人	人	9人
創造工学科（建築学分野）	—	4人	3人	1人	1人	人	9人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		17人				17人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://research.kosen-k.go.jp/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
例年、教員の資質向上や授業力・学生指導力の強化、授業改善等に関するFDを1回以上行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
創造工学科	160人	159人	99.4%	640人	582人	90.9%	若干人	5人
機械工学科	人	人	%	40人	18人	45.0%	人	1人
電気工学科	人	人	%	40人	38人	95.0%	人	1人
電子工学科	人	人	%	40人	41人	102.5%	人	人
情報工学科	人	人	%	40人	23人	57.5%	人	1人
建築学科	人	人	%	40人	40人	100%	人	1人
合計	160人	159人	99.4%	840人	742人	88.3%	若干人	9人
建設・生産システム工学専攻	8人	4人	50.0%	16人	9人	56.3%	人	人
電子情報システム工学専攻	12人	13人	108.3%	24人	29人	120.8%	人	人
合計	20人	17人	85.0%	40人	38人	95.0%		
（備考） 創造工学科は平成28年度に設置し、まだ完成年度を超えていない。 また、機械工学科、電気工学科、電子工学科、情報工学科及び建築学科は、平成27年度をもって学生募集を停止している。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
機械工学科	31人 (100%)	10人 (32.3%)	21人 (67.7%)	人 (%)
電気工学科	24人 (100%)	2人 (8.3%)	22人 (91.7%)	人 (%)
電子工学科	37人 (100%)	20人 (54.1%)	16人 (43.2%)	1人 (2.7%)
情報工学科	33人 (100%)	14人 (42.4%)	19人 (57.6%)	人 (%)
建築学科	31人 (100%)	8人 (25.8%)	22人 (71.0%)	1人 (3.2%)
合計	156人 (100%)	54人 (34.6%)	100人 (64.1%)	2人 (1.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 北海道大学、筑波大学、千葉大学 北海道電力㈱、サントリーホールディングス㈱、富士電機㈱				
建設・生産システム工学専攻	2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	人 (%)
電子情報システム工学専攻	16人 (100%)	2人 (12.5%)	14人 (87.5%)	人 (%)
合計	18人 (100%)	2人 (11.1%)	16人 (88.9%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 北陸先端科学技術大学院大学 東京急行電鉄㈱、セイコーエプソン㈱、東京エレクトロンFE㈱				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>高専機構として運用している Web シラバスシステム上で、シラバスを作成し、公表している。シラバス記載事項のガイドラインとして教務委員会策定の「シラバス記入要領」がある。</p> <p>2019年度のシラバスは、2019年1月31日までに教員が入力、2月14日までに自己チェック、2月28日までに相互チェックを実施した。4月1日に新年度シラバスを公開し、一般からの閲覧を可能とした。</p> <p>授業の初回に、科目担当教員が学生にシラバスを印刷して配布するなどして説明している。</p> <p>1年間の授業を行う期間は、定期試験、学校行事等の期間を含め、35週にわたるものとし、学年ごとの授業科目及び履修単位数は、別表の教育課程のとおりとする。</p> <p>なお、各授業科目の単位数は、30単位時間（1単位時間は標準50分とする。）の授業をもって1単位とする。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>全課程の修了の認定に必要な単位数は、167単位以上（そのうち、一般科目については78単位以上、専門科目については89単位以上とする。）とする。</p> <p>なお、各学年の課程の修了又は卒業を認めるに当たっては、学年の平素の成績を評価して行うものとする。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
本科	創造工学科(情報工 分野)	167単位	有・無	なし 単位
	創造工学科(機械工 学分野)	167単位	有・無	なし 単位
	創造工学科(電気工 学分野)	167単位	有・無	なし 単位
	創造工学科(電子工 学分野)	167単位	有・無	なし 単位
	創造工学科(建築学 分野)	167単位	有・無	なし 単位
	機械工学科	167単位	有・無	なし 単位
	電気工学科	167単位	有・無	なし 単位
	電子工学科	167単位	有・無	なし 単位
	情報工学科	167単位	有・無	なし 単位
	建築学科	167単位	有・無	なし 単位
専攻科	建設・生産システ ム工学専攻	62単位	有・無	第1学年各期 18単位
	電子情報システム 工学専攻	62単位	有・無	第1学年各期 18単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
本科	創造工学科	234,600 円	84,600 円	約 116,750 円	スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円 教材費(教科書など)約 55,000 円 後援会費 40,000 円 寄宿料 4,200 円(入寮者のみ) 寮費 12,500 円(入寮者のみ) 寮生会入会金 1,500 円(入寮者のみ) 寮生会費 2,000 円(入寮者)
専攻科	建設・生産システム工学専攻	234,600 円	84,600 円	11,550 円	スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円 後援会費 10,000 円
	電子情報システム工学専攻	234,600 円	84,600 円	11,550 円	スポーツ振興センター共済掛金 1,550 円 後援会費 10,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 入学料、授業料および寄宿料等に係る免除や徴収猶予の制度がある他、日本学生支援機構の奨学金やその他の各種奨学金を取り扱っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア教育支援委員会において、学生の就職や進学、インターンシップに関するサポートを行っており、企業ガイダンスや大学編入学説明会に関する計画の立案・実施をしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の怪我や体調不良等の応急処置、心身に関する相談等に対応する保健室がある他、学生の全人的成長・発達に関する問題や悩みの解決に必要な助言・援助を行う学生相談室がある。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : https://www.kushiro-ct.ac.jp/modules/pico/index.php?content_id=311
--